

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報Ⅰ

教科：情報 科目：情報Ⅰ 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～G組

教科担当者：（A・B・C・D・E・F・G組：岡崎）

使用教科書：（実教出版 最新情報Ⅰ）

教科 情報 の目標：

- 【知識及び技能】情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法の理解を深め技能を習得し、情報社会と人との関わりを理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報との結びつきと捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関りについて理解を深める	様々な事象を情報との結びつきと捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
情報社会に生きるわたしたち	教科者P4～7	行動観察	○	○	○	1
情報の特性	教科者P8～9	定期考査	○	○	○	1
情報モラル ・不特定多数を対象 ・情報化がもたらす影響	教科者P10～11 「SNSの特性を考えてみよう」 「テクノ不安・テクノ依存」	定期考査 ワークへの取組み ワークシート	○	○	○	1
知的財産と個人情報 ・知的財産 ・個人情報の保護と管理	教科者P12～21 「産業財産権・著作権」 「個人情報保護法」	定期考査 ワークへの取組み ワークシート	○	○	○	2
サイバー犯罪とその対策 ・サイバー犯罪 ・認証技術	教科者P22～23 「不正アクセス禁止法・電磁的記録対象犯罪」 「知識認証・生体認証」	定期考査 ワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	1
問題解決の考え方 ・問題解決の流れ、考え方を学ぶ ・目的や状況に応じて問題を発見・解決する方法を考える ・問題発見・解決に主体的に取り組むことができる	教科書P24～32 「問題解決の考え方を身につけよう」 「問題解決の考え方」	定期考査 ワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	2
定期考査						
メディアとコミュニケーション ・メディアの機能 ・コミュニケーション ・インターネット	教科書P34～43 「メディアの分類」 「コミュニケーションの分類」 「ソーシャルメディア」	定期考査 ワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	4
情報デザイン ・情報デザインについて学ぶ ・情報デザインを用いた情報表現を考える ・情報デザインによる問題解決を考える姿勢を育む	教科書P44～53 「情報バリアフリー」 「ユーザーバリアフリー」 「表・色彩の利用」	定期考査 ワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	1
情報デザインの実践 ・文書 ・プレゼンテーション ・webページ	教科書P54～67 「レポート・ポスターのデザイン」 「ストーリーの組み立て」 「HTMLの基本構造」	定期考査 ワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	6
定期考査			○	○		1



高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 情報 科目 情報演習

教科： 情報 科目： 情報演習 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 組～ 組

教科担当者： （選択者： 岡崎 ） （ ）

使用教科書： （ 学校設定科目なので、使用する教科書はありません ）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】 情報と情報技術を活用して問題の発見・解決する方法の理解を深め技能を習得し、情報社会と人との関わりを理解する。

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報との結びつきと捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関りについて理解を深める	様々な事象を情報との結びつきと捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	コンピュータのしくみ ・コンピュータの仕組みについて学 ぶ ・基礎的な知識や技術を理解し考 える ・基礎的な知識や技術の理解を深め る	「コンピュータの基本的な構成」 「ソフトウェアとOS」 「CPUとメモリ」 「CPUによる演算のしくみ」 「2進法による計算」	定期考査 グループワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	6
	アルゴリズムとプログラム ・アルゴリズムとプログラムについ て学ぶ ・アルゴリズムとプログラムの関係 を理解し、アルゴリズムを考えプロ グラムを作成できる ・身の回りの問題解決に活用する姿 勢を育む	「アルゴリズム」 「プログラムの構成要素①」 「プログラムの構成要素②」 「データの扱い」 「アプリケーションの開発①」 「アプリケーションの開発②」 「アプリケーションの開発③」	定期考査 グループワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	6
	情報通信ネットワークのしくみ ・情報通信ネットワークの仕組みに ついて学ぶ ・通信ネットワーク状況に応じた適 切な構成要素を考える ・情報通信ネットワークを適切に活 用する姿勢を育む	「コンピュータとネットワーク」 「ネットワークの接続」 「プロトコルとIP」 「プロトコル データ転送のしく み」 「暗号化のしくみ」 「暗号化と認証技術」	定期考査 グループワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	4
	情報システムとデータベース ・情報システムとデータベースにつ いて学ぶ ・情報システムを構成する技術が社 会で利用されていることを理解する ・情報システムを積極的に活用しよ うとする姿勢を育む データの活用 ・データ分析について学ぶ ・データ分析しやすいデータの取 集、整理および分析ができる ・データ分析を身の回り活用する姿 勢を育む	「情報システム」 「情報システムにおけるデータベ ース」 「データベース管理システムとデー タモデル」 「データの収集と整理」 「数値データの分析」 「テキストデータの分析」	定期考査 グループワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	6
定期考査							
2 学 期	情報Ⅰで学んだプログラムの構造化 と構造化するためのアーキテクチャ の明確化	プログラム構造化の明確化 Webアプリケーションの作成	定期考査 グループワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	4
	情報Ⅰで学んだ情報通信ネットワー クのしくみの構造化と構造化するた めのアーキテクチャの明確化	情報通信システムのしくみと情報セ キュリティ	定期考査 グループワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	6
	情報Ⅰで学んだ情報システムとデー タベースの構造化と構造化するた めのアーキテクチャの明確化	情報システムの開発と運用要件定義 とシステムの可視化	定期考査 グループワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	6
	情報Ⅰで学んだデータの活用の構 造化と構造化するためのアーキテ クチャの明確化	データ解析と構造化の明確化 構造化と誤差等のデータ解析にかかわ る数値処理について	定期考査 グループワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	6
定期考査							

3 学 期	クラウド情報システムはDXとしての社会問題を解決するための道具である。ペインポイントを理解し、DXを理解するために必要なことを学ぶ	情報と情報技術を活用した問題解決	定期考査 グループワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	4
	身近で具体的な問題の一つ上げ、問題解決に何ができるのか思考する	情報と情報技術を活用した問題解決の探究	定期考査 グループワークへの取組み ワークシート 行動観察	○	○	○	4
							合計
							52